



## ボランティアニュース

Vol. 193 2019年11月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦興

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com/>

e-mail [kcmcvolunteer@kanagawa-pho.jp](mailto:kcmcvolunteer@kanagawa-pho.jp)

### しなやかな気持ちを取り戻す場

患者図書室ボランティア 望月直子  
私にとって、オレンジクラブでのボランティアは、日常とは違う時間の流れと温かい雰囲気にも包まれ、しなやかな気持ちを取り戻すために必要不可欠な場です。

昨年までも、総合受付ロビーをお借りして、何回かイベントを開催させていただいていましたが、今年は、夏休み最後の8月26日(月)に「海獣の子供書道展」&「手作り子供服ファッションショー」を行いました。このイベントは、知的障害者のサークルとして栄区で活動している『さらら』と、港南区で活動している『Ami』の皆さんに協力、出演してもらいました。

書道展には、患者さんやそのご家族から「子供の入院する夜の病院は、とても寂しく気持ちが落ち込むのですが、一つ一つの作品を見て、元気になりました。」ととても嬉しいメッセージをいただきました。

ファッションショーでは、小学生から成人までの知的障害児者が、ハレの日の華やかな衣装に身を包み、「夢をかなえてドラえもん」の音楽にあわせてロビーを1周しました。

皆さんが温かく声掛けやハイタッチをしてくださったので、最高の笑顔で「ママ！できた

よ」と全員戻ってきてくれました。

そして最後はロビーで応援してくれていた子供たちもいっしょに『パプリカ』を踊り、溢れる笑顔でイベントを終えることができました。日頃、周りのペースに合わせるのが難しく「はやく！」と注意されることの多い子供たちにとって「主役」になれた最高の1日。素敵な夏休みの思い出をありがとうございます。



私の長女はダウン症、長男は自閉症で、二人とも重度の知的障害があります。

長女を生んだ直後は何も見えない深海に沈んだ気持ちで、毎日目覚めるたびに夢であったほしいと思ったものでした。今26歳になっ

た娘のあふれる笑顔を見るたびに、どうしてあんなに絶望的な気持ちになったのか？過去の自分に「大丈夫！楽しいことがたくさん待っているよ！」と声をかけてあげたい気持ちでいっぱいです。

世の中には、この子たちのことを本当に理解し、親の力ではできない援助をしてくださる方がいらつしやいます。そんな素敵な出会いがある度に人生がとてもキラキラします。娘が高校生のとき、心臓の手術のアフターフォローでこの病院の循環器内科を受診した時に、卒業後の進路をドクターが訪ねると、娘は小さい子どもと遊びたいと答えました。そしてドクターが病院のボランティアグループである「オレンジクラブ」を紹介してくれたのが、オレンジクラブと娘とのつながりの始まりです。

それから7年以上、娘は毎週月曜日に患者図書室でボランティア活動をさせていただくようになりました。5年が過ぎた時には、総長先生から立派な感謝状もいただきました。

ダウン症の娘がボランティアでできることがあるのだろうか？と当初心配していましたが、彼女がピンク色のボランティアのエプロンと名札を付けて立っていると、ダウン症の赤ちゃんを持ったお母様が泣きながら「こんなこともできるようになるのですね？希望が持てまし

た。」と言ってくださり、立っているだけでもボランティア。と今日まで続ける力になっていきます。

また、10月8日のボランティア研修会では、ボランティアを始めてみようと思っていらつしやる方々に、ボランティアを受ける立場に立って、お話をさせていただく機会にも恵まれました。

ボランティアというと、こうしてあげたいという強い思いを持って来られる方が多いと思いますが、同じ病気や障害でも手伝ってもらいたいポイントは様々で、そこをきちんと聞き取り、お手伝いしてくれる人が、ボランティアとして求められる人材だと思います。行動するよりもまず、コミュニケーションをたくさん取って、相手が何を求めているのか？をいつも考えて、わからなければ直球で、「私にお手伝いできることはありますか？」と聞いてから動いてほしいと願います。話を聞いて聞いてくれるだけ、手を握って横に座ってくれるだけでも十分助けになります。これからもオレンジクラブの皆様のご活躍を願っています。そしていつまでも温かい雰囲気のおレンジクラブが、私の心の拠り所であり続けますように。



(上)ボランティア研修会での望月氏  
(左)総合待合でのファッションショー

## ぽぽんた通信

きくちゃん

周産期病棟の工事が終了してぽぽんたの活動は、周産期のお母さん達への本に貸し出しが落ち着いて出来るようになった。特に個室は、広くてシャワールームもあって快適そうだ。本の貸し出しもゆつくり選べるせいか、以前より冊数が増えている。MICOの活動もスタートさせて頂きたいので、10月16日(水)リーダー二人と共に案内して頂いた。家族待合室は壁面に四季のスライドが映し出されていて美しい。通路足元には金魚が泳ぎ(スライド)楽しい企画でいっぱいだ。MICOの病室はベッドサイドにリクライニングシートが置かれ、お父さんやお母さんのお腹の上で赤ちゃんが抱っこされている姿は、安心感と温かさが伝わってくる。窓が大きくとても明るい。新生児病棟のBGMは小鳥のさえずりで、案内して下さった科長さんも「この声でリラックスできる」とおっしゃっていた。病棟内は快適な温度が保たれ居心地がよい。ぽぽんたの活動はどのようにするか、まだきまっていない。



## 10月の活動から

絵画グループの小山裕二さんがベイリーを描いてくれました。本館1階に飾りました。



九州在住の湯元さんのピタゴラスイッチ



## 重心施設でのイベント

ハロウィンでのピアノ演奏村上さんと、関東学院大混声合唱部の皆さん



パシフィコの横浜マラソンランナーをお迎えるのでこども医療ブースでオレシジククラブの4人お手伝い。バックがヨシタケさんのイラストです。



## 第36回 チャリティーパーザー

12月2日(月)10:00~14:30  
場所…体育館 お待ちしております。  
パーザー用品のご提供お願いします。  
手作り品・児童書・おもちゃ・こどもの衣類、日用雑貨品等



< 2019年11月活動スケジュール >



月	火	水	木	金
				1
		<b>ピアノ独奏コンサート(佐久間晃子氏)</b> 総合待合・母性・NICU		<b>関東学院大合唱</b> 重心・総合待合
4	5	6	7	8
		<b>Sホスピタル/5西</b> <b>ケルテックハーブ</b> <b>コンサート</b> 重心 10:30 総合待合 11:30	<b>9日クリスマス飾り付け 9:00~</b>	
11	12	13	14	15
<b>吊るし雛</b> <b>フットサル</b> <b>病棟</b>	<b>Hクワン/am4東、</b> <b>ハイア2・pm</b> <b>こころ</b> <b>、総合待合</b> <b>園芸</b> <b>おもちゃ(プレコー</b> <b>ナー)10:00~15:00</b>	<b>縫製 (ホラルーム)</b> <b>手作り (ホラルーム)</b>	<b>こどもたちに贈る</b> <b>声楽コンサート</b> <b>総合待合</b> <b>10:30~12:00</b>	<b>おもちゃ/amグリーン</b> <b>・pm4東</b>
18	19	20	21	22
	<b>カリ先生とフラ</b> <b>ダンス 重心・総</b> <b>合待合・こころ</b>	<b>Sホスピタル/5西</b> <b>縫製 (ホラルーム)</b>	<b>ステッカーアート/4東</b> <b>5西</b> <b>ミルクティ/総合待合</b>	<b>24日(日)音の絵本</b> <b>重心 10:30</b> <b>総合待合 11:30</b>
25	26	27	28	29
<b>フットサル</b> <b>外来</b>	<b>Hクワン/am4南、</b> <b>5南・pm4西、総</b> <b>合待合</b> <b>盲導犬/こころ14:0</b> <b>0~、肢体15:15~</b> <b>園芸</b>	<b>28日</b> <b>作業</b>	<b>音楽のおもちゃ箱</b> <b>重心 10:30</b> <b>総合待合 11:30</b> <b>にじいろ絵本箱</b> <b>総合待合 14:00</b>	<b>30日(土)</b> <b>チャリティー</b> <b>バザー準備</b> <b>9:00~</b>

- ・毎週月曜日 フラワーアレンジメント
- ・毎週火曜日 高野さんとピアノで歌おう 10:00~10:45
- ・毎週月・水・金曜日 きょうだい預かり 10:30~16:00
- ・毎週火・金曜日 重心作業
- ・毎週月~金曜日 患者図書/外来
- ・毎週水曜日 ぽぽんたAM/PM

その他の活動

- ・チャイルドウィッシュきょうだい預かり  
毎日曜日 13:30~15:30
- ・ピアサポート 火~金曜日 10:00~15:00

(イラストは、ヨシタケシンスケさんから頂いた最新版です。)

